

X橋



Apple iPhone F2.4 S1/120 ISO125

明治20年の日本鉄道本線(現東北本線)の開業により、仙台市の東西の交通は分断された。その不便を解消するため、軍関係の強い要請もあって、大正10年、本橋が架設された。

元寺小路・名掛丁の二つの東西に走る通りを1本に束ね、南北に走る名掛丁新道・東北本線・仙山線・東六番丁を跨いでいた。平成7年ごろ以前は、呼称のとおり、取付道路も含め、上空から見てXの字型をしていた。

本橋の正式名称は「宮城野橋」と言うが、仙台市民にはX橋としか通用しない。再開発が進行するにつれ徐々にその身が削られていき、Y字型、I字型、と姿が変わって来ている。現在平成27年竣工予定の新橋工事が進行中であり、数年内に完全に破壊・撤去される運命にある。画像は名掛丁新道跨道橋部分。 [仙台市民 によ]

X橋

正式名称：宮城野橋 開通：初代／1921(大正10)年、二代目／1961(昭和36)年 撮影：2010(平成22年)8月



名掛丁自由通路より



X橋内部



吉岡一男『ふるさと仙台 仙台市制施行120周年記念写真集 保存版』より引用



国土交通省国土画像情報閲覧システムより引用・加工 1975(昭和50)年撮影